土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	砂防指定地内河川　川東川２号　通常砂防事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　ダム・溜池

ボーリング名	Bor.No.4	調査位置	広島県三次市君田町藤兼	北緯	34° 51’ 52.9520″
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	令和4年 2月 8日～ 令和4年 2月 9日	東経	132° 50’ 53.0766″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	TP 230.25m	角度	180°（上）、90°、0°（下）	方向	北 0°、90°（東）、180°（南）、270°（西）
地盤勾配	水平 0°、鉛直 90°	使用機種			
総削孔長	5.00m	試錐機	吉田鉄工所 YBM-05型		
エンジン	ヤンマー NFD8	ポンプ	吉田鉄工所　GP-5型		

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
	229.95	0.30		有機質粘土		灰褐			全体的に細砂を少量含む。 含水量は中位。	2/9 2.70
1				礫混じり砂		褐	rd2		砂分は細砂が主体。 φ2mm～40mmの亜角礫が全体的に少量混入する。 所々で細粒分を含む。 含水量は多い。	
	228.50	1.75							備北層群。 コアは指圧で容易に砕け砂状になる。 DH級岩盤。	
2				風化砂岩		黒灰				
	227.75	2.50							コア長10cm～65cmで採取する。 コアは全体的に硬質だが、亀裂も見られる。 ハンマー打で半濁音を発する。 コア肌はやや粗い。 CL～CM級岩盤。	
3				砂岩		黒				
4										
5	225.25	5.00								
6										
7										
8										
9										
10										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度（m）	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
9	1.15	3/120	3/110	3/70	9/300		
	1.45						
50以上	2.15	16	18	16/50	50/250	250	
	2.40						
50以上	3.05	50/40			50/40	40	
	3.09						
50以上	4.00	50/50			50/50	50	
	4.05						
50以上	5.00	50/30			50/30	30	
	5.03						

試料採取 深度（m）	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				2/8
				2/9